

H24 北陸地域国際物流戦略チーム 幹事会

日本海側拠点港における取組状況
【新潟港】

平成25年 3月8日

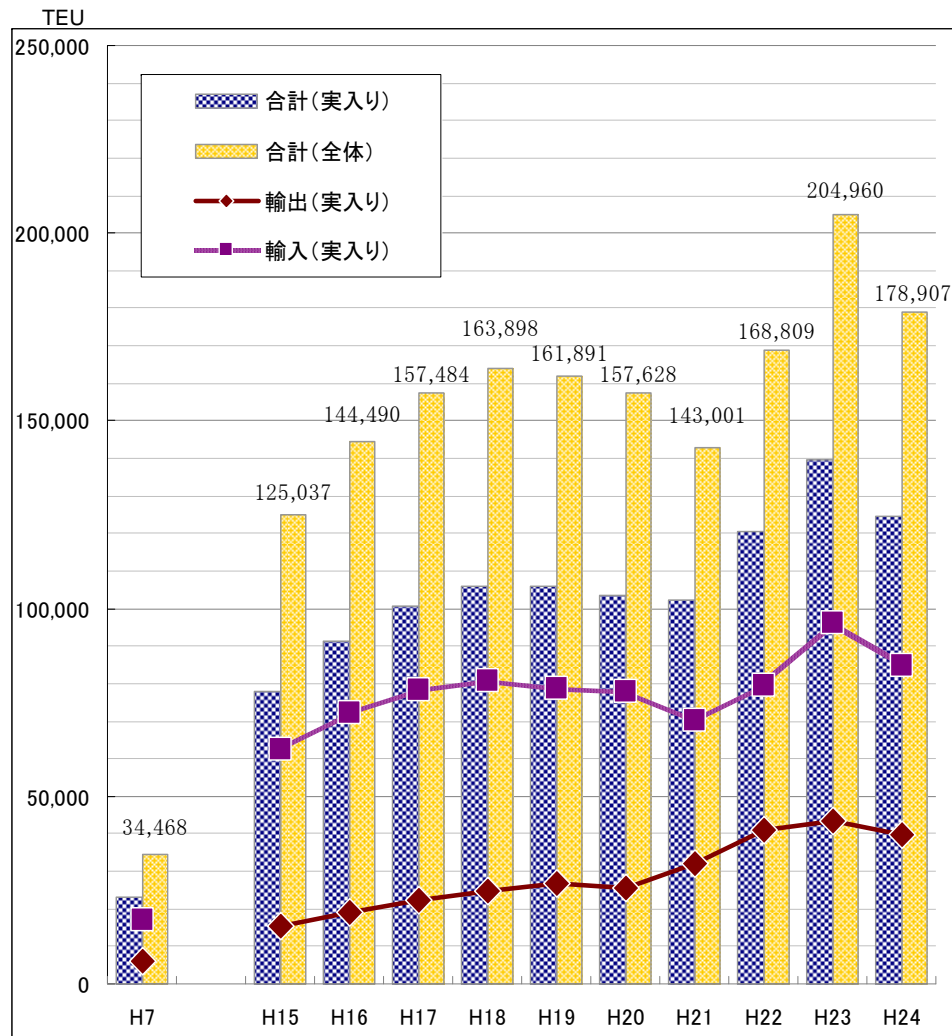
新潟県

新潟港【国際海上コンテナ】

■新潟港の概要

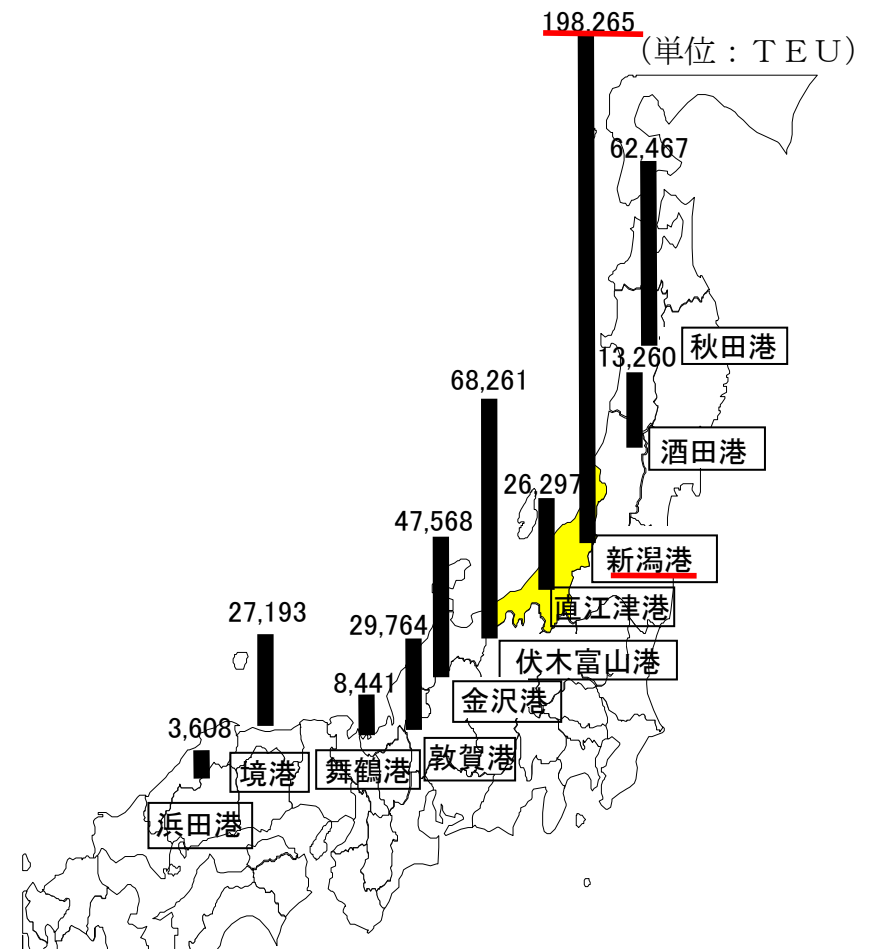
- 2012年(H24)の速報値で、約17万9千TEU(前年比87.3%、前々年比106.0%)
- 震災特需の反動減となるも、過去2番目の取扱量を確保

■新潟港のコンテナ取扱量の推移(速報値)



(出典:新潟県)

■2011年(H23)日本海側のコンテナ取扱量



(出典:国交省)

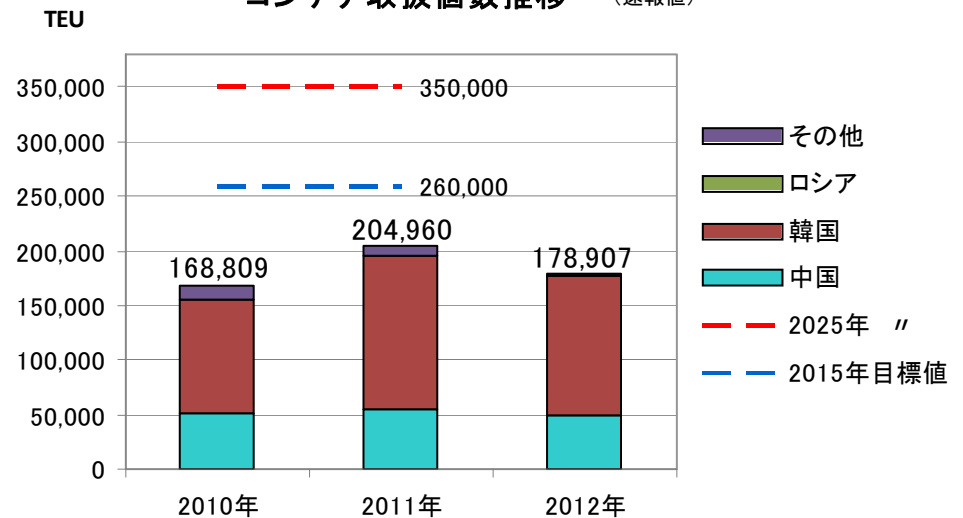
新潟港【国際海上コンテナ】

■実績及び目標値

年	輸出入 (空コン含む)	外貿コンテナ取扱個数 (TEU)				2010年比
		中国	韓国	その他	合計	
2010年 (H22)	輸出	25,496	51,954	7,175	168,809	-
	輸入	24,968	52,798	6,418		
2011年 (H23)	輸出	27,545	70,925	4,463	204,960	1.21倍
	輸入	27,339	70,278	4,410		
2012年 (H24)	輸出	24,823	63,969	999	178,907	1.06倍
	輸入	25,315	62,951	850		
2015年 (目標値)		260,000		TEU (空コンを含む)		1.54倍
2025年 (目標値)		350,000		TEU (空コンを含む)		2.07倍

2010年、2011年、2012年数値は速報値

コンテナ取扱個数推移 (速報値)



■定期航路 (平成25年3月1日現在)

航路名	便数 (便/週)	寄港地	備考
釜山航路	3	釜山	
中国航路	2	上海、大連、青島	
中国・釜山航路	5	蔚山、光陽、釜山 上海、大連、青島、寧波、天津新港	
釜山・極東ロシア航路	1	釜山、ウラジオストク	
日本海横断航路	0.5	ロシア・ザルビノ (中国・琿春)	隔週
合計	11.5		

新潟港【国際海上コンテナ】

■他の港湾との連携の進捗状況

(1)新潟、直江津両港の協同した取組

① 両港寄港の場合の2港目入港料免除制度を活用した航路誘致

- ・ 船社、船舶代理店等に対して、2港目入港料免除制度の周知を行い、利用者にとって使いやすい港作りを推進している。

② 県内や隣県背後圏への連携したポートセールス

- ・ 従来体制に加えて、H24年よりポートセールス推進員を配置し、両港のPRや情報収集を行っている。

(2)日本海横断航路利用促進における中国及びロシアとの取組

① 日本海横断航路推進協議会の開催

日中ロの関係者が参加しての第1回会合を新潟で開催し、指摘されている諸問題解決に向けて検討を行った。

② 中国・吉林省と覚書署名

新潟県と吉林省の間で、航路支援、利用促進に向けた覚書に署名し、相互協力体制のもと集荷を行っている。

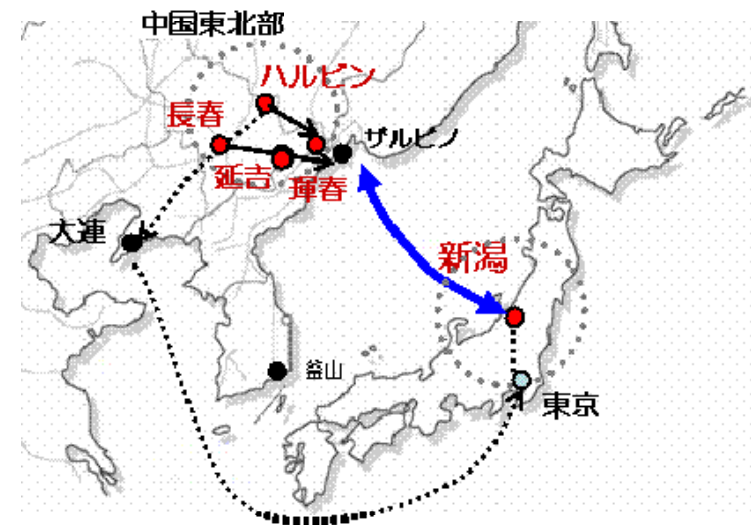
③ 中国東北部での拠点事務所開設

吉林省長春市に新潟県ビジネス拠点を開設し、日本海横断航路の集荷体制強化を図り、航路の利用促進に取り組んでいる。

新潟港、直江津港の位置



(出典:新潟県)



(出典:新潟県)

新潟港【国際海上コンテナ】

■計画実現のための進捗状況

(1) これまでの取組

- ① 3つ目のコンテナバースが供用開始(H23年度から実施)
3つ目のコンテナバースとなる西4号岸壁(-12m)の供用により、三隻同時荷役を開始。
- ② 近接する木材ふ頭へのコンテナ蔵置開始(H23年度から実施)
増加するコンテナ貨物に対応するため、木材ふ頭に空コンテナ蔵置場を新たに整備。
- ③ コンテナターミナルを結ぶ専用道路の整備(H24年度から実施)
コンテナターミナルと新たなコンテナ蔵置場となった木材ふ頭とのアクセス道路を整備。

(2) これからの取組

- ④ コンテナターミナルの民営化
荷主・船社に選ばれる競争力のあるコンテナターミナルの実現を目指す。
- ⑤ 貨物鉄道のコンテヤード乗り入れ
「オン・ドック・レール」の整備により、アクセスモードの多様化、太平洋側港湾のリダンダンシー機能の強化、モーダルシフトの推進を図る。
- ⑥ 西水路 泊地(-14m)浚渫
船舶の大型化に対応した(-14m)コンテナ専用岸壁の整備を行う。

<新潟港コンテナターミナル整備 計画図>



(出典:新潟県)

新潟港【国際海上コンテナ】

■ 民営化の進捗状況

(1)これまでの取組

○ 民営化計画の策定

① 新潟港コンテナターミナル民営化計画策定委員会の開催（全4回）

有識者による委員会を設置し、関係機関の意見把握などを経て、コンテナターミナルの民営化の基本的な条件等をまとめた計画を策定。

② パブリックコメントの実施

民営化に対する意見を広く一般から聴衆し、計画書策定に反映させた。

○ 候補事業者の選定

① 新潟港・港湾運営会社候補事業者選定委員会の開催（継続中）

有識者による委員会を設置し、コンテナターミナルの民営化について、港湾運営会社候補事業者の募集要項の検討、選定基準、審査方法の検討及び公平性、客観性を確保した候補事業者の選定を行う。

(2)これからの取組

今後は募集要項策定、事業者公募開始、候補事業者決定を行い、H26.4月に港湾運営会社による運営を開始する予定。



新潟港・港湾運営会社候補事業者選定委員会（H25.1月）

H24 北陸地域国際物流戦略チーム 幹事会

日本海側拠点港における取組状況
【直江津港・新潟港】

平成25年 3月8日

新潟県

直江津港・新潟港【その他貨物（LNG）】

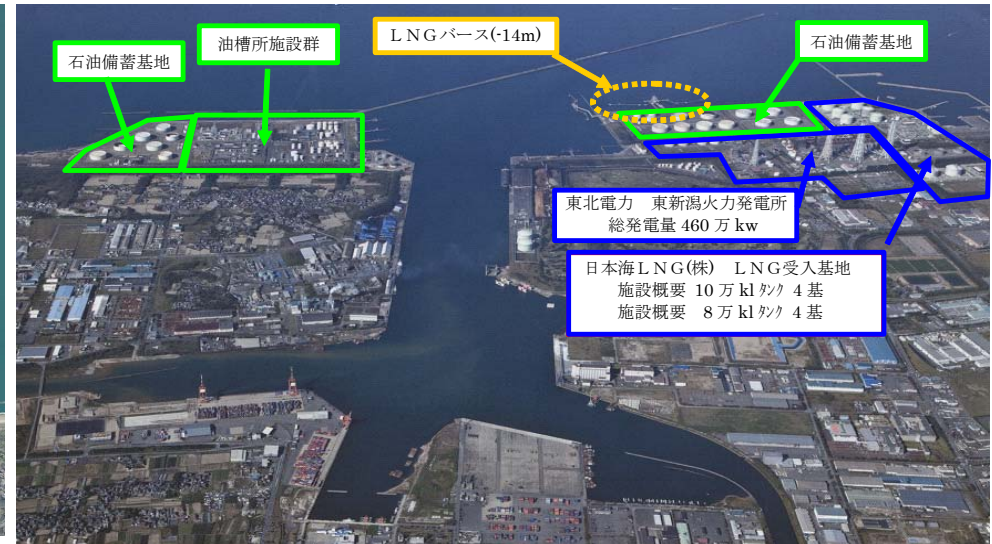
■直江津港・新潟港の概要（エネルギー関連）

直江津港エネルギー基地



(出典:新潟県)

新潟港(東港区)エネルギー基地



(出典:新潟県)

<直江津港>

(1) 電力

① 中部地方等へ電力供給を行う拠点

- ・中部電力 上越LNG火力発電所 (一部供用開始)
→ 中部電力として日本海側初の発電所

② 地元新潟県の電力安定供給を行う拠点

- ・東北電力 上越LNG火力発電所 (2023年予定)

(2) LNG受入基地

① 既存ガスパイプライン活用で首都圏や中部地方の一部に供給

- ・国際石油開発帝石 (18万KLタンク×3基)

<新潟港>

(1) 電力

① 東北電力管内の総発電量約30%を生産

- ・東北電力 東新潟、新潟火力発電所 (供用中)

(2) LNG受入基地

① 既存ガスパイプラインの活用で新潟県内や仙台福島等の南東北へ供給

- ・日本海LNG(株) (10万KLタンク×4基)
(8万KLタンク×4基)

直江津港・新潟港がLNGの日本海側受入拠点群を形成

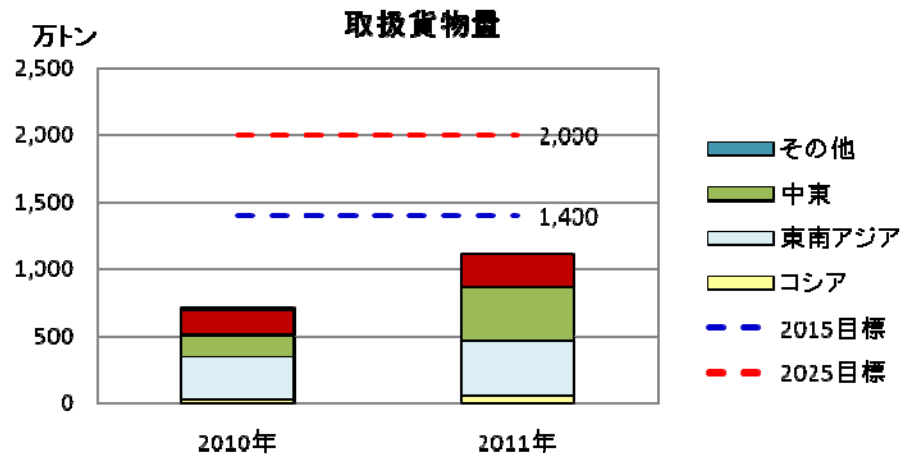
直江津港・新潟港【その他貨物（LNG）】

■ 目標



■ 実績

	輸入国	取扱貨物量 (トン)	入港回数 (回)
2010年 (実績値)	ロシア	288,822	2
	韓国	50	1
	インドネシア	367,000	3
	マレーシア	2,825,628	29
	カタール	1,603,418	9
	オーストラリア	1,836,311	10
	赤道ギニア	163,192	1
	新潟港 計	7,084,421	55
	合計	7,084,421	55
2011年 (実績値)	ロシア	573,658	4
	インドネシア	1,151,663	9
	マレーシア	2,771,576	29
	カタール	3,748,727	20
	オマーン	256,707	2
	オーストラリア	2,489,810	20
	新潟港 計	10,992,141	84
	インドネシア	136,349	1
	直江津港 計	136,349	1
	合計	11,128,490	85
2015年 (目標値)	合計	14,000,000	
2025年 (目標値)	合計	20,000,000	



2012年取扱量(速報値)

直江津港 140万トン
新潟港 1,200万トン

約1,340万トン

直江津港・新潟港【その他貨物（LNG）】

■計画実現のための進捗状況

1. 直江津港

○荒浜ふ頭地区にLNG関連施設を整備

(1) 中部電力LNG火力発電所

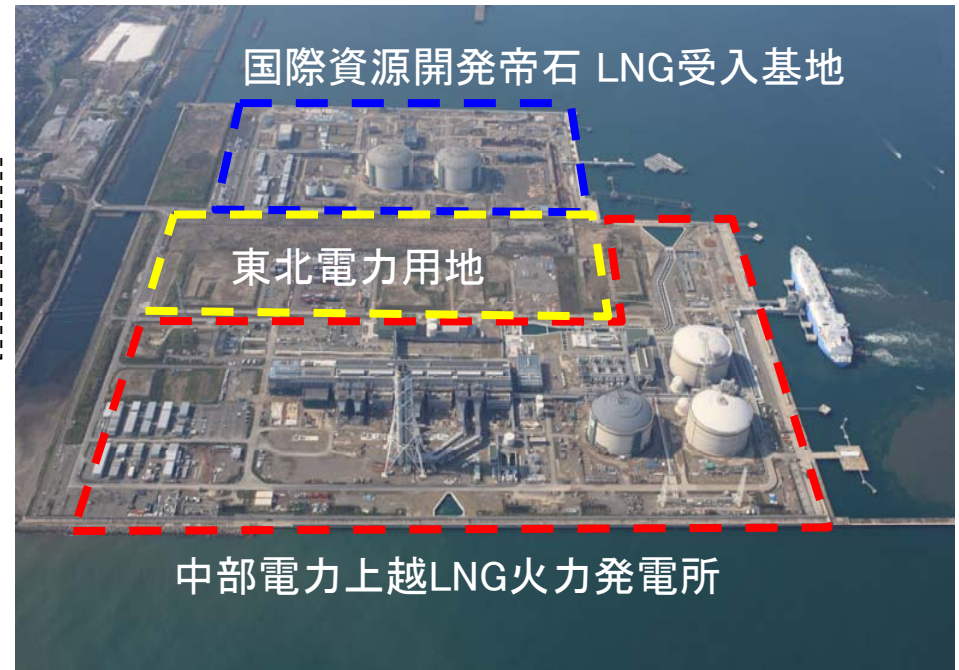
- ①2012年7月 1-1号系列 (59.53kW) 運転開始
 - ②2013年1月 1-2号系列 (59.53kW) 運転開始
- (2013年3月現在) 発電量 119万kW

(2) 国際石油開発帝石 LNG受入基地

①2014年操業予定 (整備中)

2012年 直江津港LNG輸入量 (速報値)
約 140万トン (フレート・トン換算)

直江津港 LNG関連施設整備状況



(出典: 中部電力)

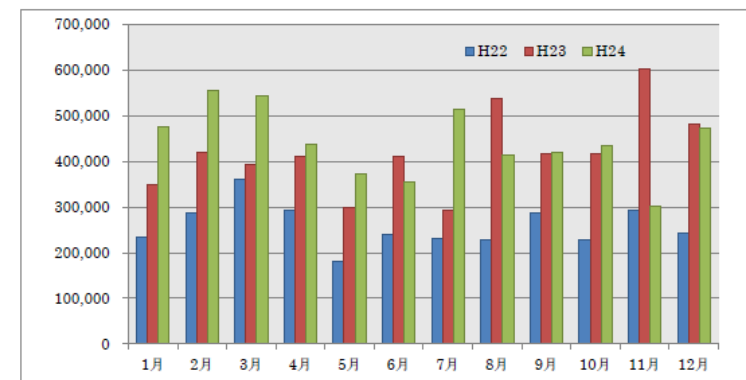
2. 新潟港

○LNG需要の高まりによる、取扱量の増加

- (1) 2012年の輸入量は約1,200万トン(フレート・トン)となり2年連続で最高記録を更新した。
- (2) LNGを輸入している川崎港、名古屋港等全国24港の中、第8位の輸入量となっている。

2012年 新潟港LNG輸入量 (速報値)
約 1,200万トン (フレート・トン換算)

新潟港におけるLNG輸入量の推移 (単位:トン)



(出典: 東京税関HP)